

(2) 教育プログラム掲載団体等一覧

頁	教育プログラム名	主な対象						団体名等 <small>(企業名・団体名等略 五十音順)</small>
		未就学児	小学生	中学生	高校生	コディネーター	その他	
あ								あ
24	ロボット&プログラム体験教室		○					アイエックス・ナレッジ株式会社
25	ドーム映像でいのち・宇宙を感じ、考える	○	○	○	○		○	株式会社アイカム
26	すべての子どもに話す力を！ Why not speak up!	○	○	○	○	○	○	一般社団法人 アルバ・エデュ
27	赤ちゃん先生クラス		○	○	○			一般社団法人育児キャリアアップ推進機構
28	未来実現IT教室「未来につながるITの仕事」			○				伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
29	お仕事発見ゲーム「ジョブ・エクスプローラーズ」			○	○			ES デザイン株式会社
30	「南極くらぶ」～<南極をもっと知ろう>～		○	○	○			NEC ネットズエスアイ株式会社
31	分身ロボット OriHime (オリヒメ) を通じて さまざまな社会課題を考える		○	○	○			株式会社オリィ研究所
か								か
32	財政教育プログラム		○	○	○		○	関東財務局 東京財務事務所
33	キッコーマンしょうゆ塾		○					キッコーマン株式会社
34	株の力			○	○			株式会社教育と探求社
35	自立した消費者となるために～キャッシュレスの上手な使い方～			○	○			株式会社 クレディセゾン
36	防犯力を育もう！「ぼうはん☆パワーアップ教室」	○	○	○	○	○	○	Go! Go!! 市民防犯推進プロジェクト
さ								さ
37	ボランティア活動を考える		○	○	○	○		認定NPO法人さわやか青少年センター
38	児童向け 社会性・自立心育成プログラム ～一歩ちゃんと学ぶ シャカいのしあわせ アドベンチャー～	○	○	○	○			一般社団法人しごとの一歩
39	子ども料理科学教室	○	○	○				NPO 法人市民科学研究室
40	考働学			○	○			生涯学習支援「たら×れば」
41	一度は受きたい「お金と人生」の授業		○	○	○			住友生命保険相互会社
42	～社会保険と生命保険が学べる講師派遣～「リスクに備える」			○	○			公益財団法人 生命保険文化センター
43	知っておきたい！人生のピンチに役立つ「社会保障制度」			○	○	○		NPO 法人 Social Change Agency
44	ライフプランニング授業		○	○	○	○	○	ソニー生命保険株式会社
45	小学生起業家になってみよう！		○					株式会社ソフィアコミュニケーションズ
た								た
46	体験型安全教育プログラム（犯罪編・SNS編・地震編）	○	○	○	○	○	○	特定非営利活動法人体験型安全教育支援機構
47	新しいワクチンのカタチ～お米を使った予防接種～		○	○	○			千葉大学未来粘膜ワクチン研究開発シナジー拠点
48	ディレクトフォース理科実験グループ		○	○				一般社団法人ディレクトフォース
49	スクールマネ部！ 授業支援プログラム ～シェア先生の経済教室～		○	○	○			東京証券取引所（日本取引所グループ）
50	僕の私のフォーマルウェア		○	○	○			株式会社東京ソワール
51	言語聴覚士のしごと紹介		○	○	○	○	○	一般社団法人東京都言語聴覚士会
52	「助け合う社会を支える一人になる」 赤十字や血液事業（献血と輸血）から考えるわたしたちの社会		○	○	○			東京都赤十字血液センター
53	キャリア教育出前授業「容器が社会を変える？未来をつくる力」			○	○			東洋製罐グループ
54	しごとマップを作ろう！		○	○	○	○		株式会社トップアスリート (13歳のハローワーク公式サイト編集部)
55	人生100年時代へ 新時代を生き抜く、お金との向き合い方		○	○	○			トレイダーズホールディングス株式会社・ トレイダーズ証券株式会社（合同）

凡例	対象者	未	高	対象分野	学	区分	講	他
		小	中		校		リ	
		未就学児	高校生		学校教育 (授業・クラブ活動等)		講師派遣	
		小学生	コーディネーター		学校外教育 (放課後子供教室等)		リモート・オンライン 提供可	
		中学生	その他		研修 (教員・PTA対象等)		教材提供	

頁	教育プログラム名	主な対象					団体名等
		未就学児	小学生	中学生	高校生	コーディネーター その他	
な							な
56	学ぶ楽しさと成長実感と一緒に学び方を体得する 「漢字学習プログラム」	○	○	○	○	○	公益財団法人日本漢字能力検定協会
57	おもいやりの心を育む「おも活」		○	○			公益財団法人 日本ケアフィット共育機構
58	安全教育プログラム「ぼうさい探検隊」		○				一般社団法人日本損害保険協会
59	君の脳にはスイッチがある！～イライラをやっつける3つの方法～		○	○	○		一般社団法人日本ナンバーワントレーナー協会
60	自己肯定感を高め、自分の大切さを体感する授業		○	○	○	○	NPO 法人日本ピーススマイル協会
61	書くって大切なこと		○			○	一般社団法人日本文化教育推進機構
62	「寄付の教室」		○	○	○	○	日本ファンドレイジング協会
63	弁理士による知的財産特別授業	○	○	○	○		日本弁理士会関東会
64	楽しいお箸講座		○				NPO 法人 日本マナー・プロトコル協会
65	ワクワクゆめ教室～楽しみながら自己探究&夢発見～		○	○	○	○	一般社団法人日本ゆめ教育協会
は							は
66	シニアと手芸体験		○	○	○		合同会社ババラボ
67	“届けよう、服のチカラ”プロジェクト		○	○	○		株式会社ファーストリテイリング
68	英語が好きな子に育つ！ 自分から勉強する子になる親子のコミュニケーション術		○	○	○		一般社団法人ファミリード
ま							ま
69	カードゲームで学ぶキャリア図鑑			○			株式会社マイナビ
70	何を書いたらいいか悩まない！ 空色ことば教室オンライン「読書感想文ツアーズ」		○	○	○	○	NPO 法人 マナビエル
71	キャッシュレス決済とクレジットカードの仕組みと注意点			○	○		三井住友カード株式会社
72	体験型防災教育コンテンツ「HIRAQ（ヒラク）」			○	○		三井住友海上火災保険株式会社
73	三菱自動車「体験授業プログラム」(SDGs編)		○				三菱自動車工業株式会社
74	介護から豊かさを学ぶ		○	○	○	○	特定非営利活動法人未来をつくる kaigo カフェ
75	ヨーグルト教室「ヨーグルトのひみつ」		○	○	○		株式会社 明治
や							や
76	探究ゼミ		○	○	○		一般社団法人コースキャリア教育機構
77	おしごとなりきり出前道場		○	○			夢★らくぞプロジェクト (一般社団法人夢らくぞプロジェクト)
78	2026年度「新聞検定」(読売新聞、読売 KODOMO 新聞)		○	○	○		読売新聞東京本社「新聞検定」事務局

プログラム名	ドーム映像でいのち・宇宙を感じ、考える		
団体名	株式会社アイカム	区分	講
対象者	<input type="checkbox"/> 未 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 他	年齢を問わず、あるいは保護者と一緒の機会でも。	対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修

プログラムのねらい
 宇宙のはじまり、いのちのはじまりを感じ、考えてみよう。自分と宇宙の関係を感じ、考えてみよう。

プログラムの内容 必要コマ数 1～2コマ

導入：3分 テーマを提示し、ドーム映像について説明後、エアドーム内に入場。

映写：プログラムにより32分 または 44分（あるいは、休憩込みで2話90分）

■第1話：いのちのはじまり（マイクロちゃんに行く宇宙の旅）32分

細胞の世界から現れた（膜分子の）マイクロちゃんと、時空キューブに乗って、「いのち探検」に出かけよう。
 あなたはどこから、どのようにして生まれてきたのか。
 たった一つの細胞から始まり、数十億個に分裂・分化して生まれるヒトの体の中には、宇宙に届くほど膨大ないのちの記憶が受け継がれている。



■第2話：すべてののはじまり 44分

私と宇宙はどんな関係なんだろう。
 ミクロちゃんと一緒に、時間をさかのぼって、すべてが始まったところまで見に行こう。
 物質・宇宙・地球・生命・ヒトの起源。138億年の旅。
 私の中のマイクロコスモス、いのち。私を包むマクロコスモス、宇宙。
 いのちと宇宙は響き合っている。



まとめ：10～15分
 アンケート用紙に感想を書き込む。
 低学年や幼児の場合は、先生とみんなで感想を話し合う、など。

令和5・6年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ ）	令和5年度実績（都内）2校（回）	令和6年度実績（都内）2校（回）
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科(小学2年・生活の時間、小学5-6年・理科) <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動(クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外(放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input checked="" type="checkbox"/> その他(生涯学習センター)		

支援活動の概要紹介

アイカムは、生きた細胞・組織・微生物などの顕微鏡撮影を得意とする生命科学映像の制作会社です。
 自社で製作したドーム映像を見てもらい、スタッフが質問にも答えます。
 板橋区教育委員会の後援で、板橋区立グリーンホールなどで年数回行うドーム上映会は、家族連れや高齢者も参加し楽しんでくれます。
 ドーム上映以外でも、映像を用いた「いのちの話」「いのちの授業」も行えます。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	有料
その他 会場・定員・必要備品 などについて	エアドームを設営する会場は、天井高3.5m、床面積7m四方必要です。 ドーム上映機材の輸送(バンタイプか1.5tトラック)と搬入・搬出にご協力ください。積み込み・積み降ろし・設営は当社スタッフが行います。 なお、人数によっては、エアドーム2張も可能です。		
連絡先	部署名・担当者	代表取締役社長 川村智子	
	プログラム紹介 WEB	http://www.icam.co.jp/ja/dome/dome_ss.html	
	電話	03-6905-6610	
	e-mail	kawamura-t@icam.co.jp	

プログラム名	すべての子どもに話す力を！ Why not speak up!		
団体名	一般社団法人 アルバ・エデュ	区分	講 義
対象者	<input type="checkbox"/> 未 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> コ <input type="checkbox"/> 他	大学生、教員、PTA 向けプログラムも実施可能 対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 研修	企業研修（社員研修）も実施可能

プログラムのねらい

なぜ今、話す力が大切なのかを時代の移り変わりとして世界の中の日本の動向を知るとともに、AIの活用が当たり前となっていく社会で、自分の人生をよりよく生き抜くために必要な話す力について学習します。その上でプレゼンのコツをワークを楽しみながら体験的に学びます。

自分の考えや思いを深掘りして、伝えたいことを見だし、聞き手に届ける意識をもってプレゼンすることで、「人生の主役は自分であることを再認識し、自分の思いや考えを人に伝えることの価値に気付く」「プレゼンのコツを知り、できそうだな、やってみたいという意欲をもつ」ことをねらいとしています。

プログラムの内容 必要コマ数 2コマ

<p>1. 児童生徒向け授業【基礎編】（小中向け・2コマ）</p> <p>50分×2 ・プレゼンの主役は自分自身であることを再認識し、自分の思いや考えを人に伝えることの価値に気付く ・プレゼンのコツを知り、できそうだな、やってみたいという意欲をもつ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分数</th> <th>タイトル</th> <th>内容</th> <th>ワーク</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0:05</td> <td>導入</td> <td>今日の流れやゴールについて</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0:10</td> <td>なぜプレゼンか</td> <td>世の中は変えられるためにプレゼンがある</td> <td>クイズ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0:05</td> <td>自分を知る</td> <td>10項目でプレゼンセルフチェック</td> <td>セルフチェック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0:20</td> <td rowspan="2">プレゼンのコツ</td> <td>考える 「広げて→深めて→選ぶ」</td> <td>「広げる」「深める」ワーク</td> <td>ペア</td> </tr> <tr> <td>0:10</td> <td>伝える 自ちから、目配り・発声</td> <td>「顔を揺く」ワーク</td> <td>個人</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">休憩</td> </tr> <tr> <td>0:10</td> <td>プレゼンのコツ</td> <td>見せる スライド作成のコツ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0:05</td> <td rowspan="3">プレゼン体験</td> <td>テーマ「自分の好きを話そう」 ウェビングマップの説明</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0:20</td> <td>広げて→深めて→選ぶ</td> <td>ヒアリングセッション</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>0:05</td> <td>練習（個人）→ミニプレゼン</td> <td>ミニプレゼン</td> <td>ペア</td> </tr> <tr> <td>0:10</td> <td></td> <td>最後に全員の前でプレゼン！（2～3人）</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分数	タイトル	内容	ワーク	備考	0:05	導入	今日の流れやゴールについて			0:10	なぜプレゼンか	世の中は変えられるためにプレゼンがある	クイズ		0:05	自分を知る	10項目でプレゼンセルフチェック	セルフチェック		0:20	プレゼンのコツ	考える 「広げて→深めて→選ぶ」	「広げる」「深める」ワーク	ペア	0:10	伝える 自ちから、目配り・発声	「顔を揺く」ワーク	個人	休憩					0:10	プレゼンのコツ	見せる スライド作成のコツ			0:05	プレゼン体験	テーマ「自分の好きを話そう」 ウェビングマップの説明			0:20	広げて→深めて→選ぶ	ヒアリングセッション	3人	0:05	練習（個人）→ミニプレゼン	ミニプレゼン	ペア	0:10		最後に全員の前でプレゼン！（2～3人）			<p>2. 児童生徒向け授業【上級編】（小中向け・2コマ）</p> <p>50分×2 ・「考える→伝える→見せる」についてさらに詳しく学び、プレゼンテーションをよりよくする方法を知る。 ・自分の好きなこと×課題解決のアイデアをプレゼンする経験を通して、自己効力感を高めるきっかけとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分数</th> <th>タイトル</th> <th>内容</th> <th>ワーク</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0:10</td> <td>導入</td> <td>アイスブレイク</td> <td>エビゲーム</td> <td>ペア</td> </tr> <tr> <td>0:20</td> <td rowspan="3">プレゼンのコツII (おさらいとアップデート)</td> <td>考える 論理の力・ストーリーの力</td> <td>おさらい 広げる・深めるワーク</td> <td>ペア</td> </tr> <tr> <td>0:10</td> <td>伝える 目配り・発声</td> <td>発声練習</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0:10</td> <td>見せる スライド作成の極意</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">0:00 休み時間</td> </tr> <tr> <td>0:10</td> <td rowspan="4">プレゼン体験 (端末活用)</td> <td>プレゼン改善の視点</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0:20</td> <td>プレゼン改善</td> <td>アドバイスタイム</td> <td>ペア</td> </tr> <tr> <td>0:10</td> <td>練習（個人）→プレゼン</td> <td>プレゼン</td> <td>ペア</td> </tr> <tr> <td>0:10</td> <td>最後に全員の前でプレゼン！（2～3人）</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分数	タイトル	内容	ワーク	備考	0:10	導入	アイスブレイク	エビゲーム	ペア	0:20	プレゼンのコツII (おさらいとアップデート)	考える 論理の力・ストーリーの力	おさらい 広げる・深めるワーク	ペア	0:10	伝える 目配り・発声	発声練習		0:10	見せる スライド作成の極意			0:00 休み時間					0:10	プレゼン体験 (端末活用)	プレゼン改善の視点			0:20	プレゼン改善	アドバイスタイム	ペア	0:10	練習（個人）→プレゼン	プレゼン	ペア	0:10	最後に全員の前でプレゼン！（2～3人）		
分数	タイトル	内容	ワーク	備考																																																																																																			
0:05	導入	今日の流れやゴールについて																																																																																																					
0:10	なぜプレゼンか	世の中は変えられるためにプレゼンがある	クイズ																																																																																																				
0:05	自分を知る	10項目でプレゼンセルフチェック	セルフチェック																																																																																																				
0:20	プレゼンのコツ	考える 「広げて→深めて→選ぶ」	「広げる」「深める」ワーク	ペア																																																																																																			
0:10		伝える 自ちから、目配り・発声	「顔を揺く」ワーク	個人																																																																																																			
休憩																																																																																																							
0:10	プレゼンのコツ	見せる スライド作成のコツ																																																																																																					
0:05	プレゼン体験	テーマ「自分の好きを話そう」 ウェビングマップの説明																																																																																																					
0:20		広げて→深めて→選ぶ	ヒアリングセッション	3人																																																																																																			
0:05		練習（個人）→ミニプレゼン	ミニプレゼン	ペア																																																																																																			
0:10		最後に全員の前でプレゼン！（2～3人）																																																																																																					
分数	タイトル	内容	ワーク	備考																																																																																																			
0:10	導入	アイスブレイク	エビゲーム	ペア																																																																																																			
0:20	プレゼンのコツII (おさらいとアップデート)	考える 論理の力・ストーリーの力	おさらい 広げる・深めるワーク	ペア																																																																																																			
0:10		伝える 目配り・発声	発声練習																																																																																																				
0:10		見せる スライド作成の極意																																																																																																					
0:00 休み時間																																																																																																							
0:10	プレゼン体験 (端末活用)	プレゼン改善の視点																																																																																																					
0:20		プレゼン改善	アドバイスタイム	ペア																																																																																																			
0:10		練習（個人）→プレゼン	プレゼン	ペア																																																																																																			
0:10		最後に全員の前でプレゼン！（2～3人）																																																																																																					

令和5・6年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> その他（高校生、大学生、教員、PTA、企業向け研修も可） 令和5年度実績（都内）66校（回） 令和6年度実績（都内）46校（回）
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科（国語科） <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input checked="" type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input checked="" type="checkbox"/> その他（企業向けプレゼン研修、社会人向けファシリテーター研修）

支援活動の概要紹介		
アルバ・エデュ (alba edu.) は、子供たちが将来の社会で活躍するために必要な「話す力」を育成することを目的とした一般社団法人です。コミュニケーション能力やプレゼンテーションスキルの向上を支援し、教育現場や地域、企業と連携して、広範な活動を展開しています。具体的な活動内容としては、学校や地域社会に向けた教育プログラムの提供、教員向けの研修、また個人向けにプレゼンテーションやファシリテーション力を高めるための講座などがあります。一人一台のタブレット端末を使い、生成AIを活用した教育アプリ『SPEAK STAR』を授業で使用することも可能です。		
対応可能な時期	日程が合えば随時可能	
必要経費	有料 講師派遣料、交通費など（¥55,000～）	
その他 会場・定員・必要備品 などについて	・ご要件に合わせて、30名～数百名までを対象に実施可能 ・但し、生成AI活用アプリ「SPEAK STAR」を用いた授業（研修）プログラムを実施する際は、Wi-Fi環境と生成AI環境の同時接続数の制約より200名以下での開催が望ましい。	
連絡先	部署名・担当者	事業開発部 三浦 嘉子
	プログラム紹介 WEB	https://www.alba-edu.org/
	電話	03-5981-9271
	e-mail	info2@alba-partners.com

プログラム名	『南極くらぶ』 ～<南極をもっと知ろう>～		
団体名	NEC ネットズエスアイ株式会社		区分 講リ
対象者	小 中 高	高校生は、キャリア教育の要素を盛り込むなど内容検討する必要があるため要相談	対象分野 学校 学外
			通常は授業支援を対象。SDGsを注視した授業、職をテーマにグループ討議も可能

プログラムのねらい

南極の自然が織りなす様々な気象現象や極寒地域で生存する動物、厳しい南極での生活と普段の生活の違い等、驚きと感動を伝え、自然科学への興味や環境問題への関心を高める。
また、「夢を叶える」をテーマに、南極越冬隊員の夢に向かって努力を続けた社員の成し遂げる力にまつわるエピソードを交え、将来のキャリア形成の一助とする。

プログラムの内容 必要コマ数 2コマ

NEC ネットズエスアイ(株)は、国立極地研究所経由で、従業員を南極に越冬隊員として派遣し、昭和基地の多目的衛星データ受信システムの運用・保守点検等に当たっています。
越冬隊への参加経験を持つ社員が講師として登壇します。南極での生活の様子、氷を砕いて進む「砕氷艦しらせ」の勇姿、オーロラ・気候・動物などの自然科学を講師自ら撮影した動画や音声を交えて説明する他、南極クイズなども実施し聞いて、見て、答えてと飽きないプログラム構成にしています。その他にも隊員の防寒服を着用する時間も設けるなど体験も組み込んでいる出前授業です。遠地の場合オンラインで授業を開催することを可能にしています。2024年度も2023年度に続き、文科省による「青少年の体験活動推進企業表彰」にて奨励賞に選ばれました。

■所要時間：90分（45分×2）

■プログラムの流れ

- ①導入（5分）：講師、自己紹介（名前、会社名、仕事、趣味、南極への動機等）
- ②講義（40～60分）：南極の自然、動物、生活や南極での仕事について写真や動画を交えて（途中クイズなども入れます）紹介
- ③体験（20分）：防寒着に触れ、厚さや重さを実感後、防寒着の横に並び記念撮影
- ④まとめ、質問（10～15分）：講師への質問

授業の様子



防寒着体験の様子



オンライン授業



Zoomによるリモート授業

令和5・6年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他（ ）	令和5年度実績（都内）19校（回）	令和6年度実績（都内）14校（回）
	<input type="checkbox"/> 教科（ ） <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input checked="" type="checkbox"/> その他（自治体イベント・公民館/図書館でのイベント）		

支援活動の概要紹介

「南極くらぶ」は、次世代育成の一環（社会貢献プログラム）として、主に小中学生を対象とした出前授業となります。小中学校の学習支援や児童生徒の将来のキャリア形成の一助としてご活用いただければ幸いです。お気軽にご連絡ください。保護者の皆さまも授業参観は問題ありませんので、大人も非常に興味湧きますし、ご家庭でのコミュニケーションの一助になると思います。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 平日ならびに土曜日に開催 90分/1回 開催希望日の3ヶ月前には申込必要	必要経費	無料 宅配代を一時立て替えをお願いすることがあります。
その他 会場・定員・必要備品 などについて	会場（教室・体育館・講堂等/暗幕がある環境を推奨）、設備（プロジェクター、スクリーン、マイク、スピーカー、予備パソコン）については、ご用意をお願いいたします。また、授業に際しましては、事務局担当が事前に学校へ伺い、会場の下見と概要を説明し、学校の意向を確認し授業内容を決定していきます。 ※講師は越冬隊経験者となりますが、本務での業務を担っているため、原則、東京都を中心に開催。平日の授業は繁忙期や出張等で重なった場合については、開催日程を調整いただく事がありますので、予めご了承ください。 ※1開催あたり30名以上、会場の容量等で30名に満たない場合は要相談。 ※開始時間は10時～16時の間でご検討ください。開始時間が10時～16時以外の場合は要相談。 ※土曜開催については、原則、公開授業など親子参加型で申し込みください。※日・祝日、お盆、年末年始、GW期間中は開催しません。 ※年度末の3月開催については要相談。※年度始めの4月は受付のみとさせていただきます。		
連絡先	部署名・担当者	総務部 社会貢献グループ 林 淳一（ハヤシ ジュンイチ）/鈴木 正人（スズキ マサト）/落合 淳（オチアイ ジュン）/福島 裕紀子（フクシマ ユキコ）/澤野 由紀子（サワノ ユキコ）	
	プログラム紹介 WEB	https://www.nesic.co.jp/sustainability/social/contribute/education.html	
	電話	【会社携帯】 090-2656-3729（林）/090-2760-7356（鈴木）/090-2547-9904（落合）/080-8389-1761（福島）/070-7782-1312（澤野）	
	e-mail	csr-sk@dm.nesic.com	

プログラム名	財政教育プログラム		
団体名	財務省 関東財務局 東京財務事務所	区分	講
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 他	対象者のオーダーに合わせたプログラムを行います。 大学生も対象としています。	対象分野 <input checked="" type="checkbox"/> 学校

プログラムのねらい

- ・難しそうに見える日本の財政に興味を持ち、社会問題を「自分事」として捉え、自分たちの国の将来について考え、判断できる知識を育む。
- ・国からの受益（社会保障支出）と負担（国民負担額）の両面性（トレードオフ）の理解を深めることができる。
- ・反対意見や疑問を持った人たちに納得してもらえる説明をすることの難しさ、多面的な見方が重要であることを感じることができるようになる。

プログラムの内容

必要コマ数 2コマ

【プログラムの流れ】※時間は目安です。

- ①講義 (30分)
 - ・自己紹介、本日の流れの説明
 - ・財政の講義
講義では、子供たちに身近な「公共サービス」や「公共施設」を入口にして、クイズを取り入れながら説明します。
- ②グループワーク (30分)

「財政の講義」を踏まえ、タブレット端末等を活用したグループワークを行います。子供たち同士で意見を出し合い、予算案を編成してもらいます。ワーク中は、職員が質問対応やアドバイスを行います。

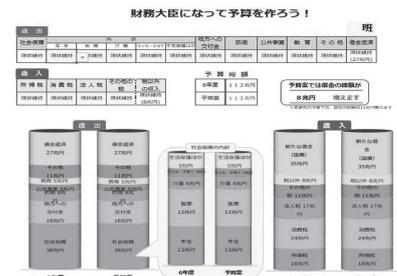
(グループワークの内容)

 - ・「日本村の予算を作ろう！」(主に小学生向け)
もし、日本が100人の村でその予算が100万円だったら？というシミュレーション。どのような予算にすれば、村の未来が良くなるかを考えます。
 - ・「財務大臣になって予算を作ろう！」(主に中学生向け)
子どもたちに財務大臣になってもらい、日本をどんな国にしたいかという考えをもとに、グループで予算案を作ります。
 - ・「社会保障改革プランに挑戦！」(主に高校生以上向け)
今の日本の社会保障制度は、受益と負担がつりあっていない状態です。より良い日本の未来を実現するためには、どのような制度改革が必要かを考えます。
- ③発表 (30分)

各グループから予算案とアピールポイントを発表してもらいます。発表後には、発表者グループと他の子供たちによる質疑応答を行います。



【グループワークの様子】



【シミュレーションツール】

令和5・6年度実績	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	令和5年度実績 (都内) 10校 (回) 令和6年度実績 (都内) 6校 (回)
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科 (公共、公民、グローバル経済) <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他 ()	

支援活動の概要紹介

- ・日本の財政を自分たちにかかわる課題として感じてもらうため、「自分の将来のために日本の未来を考える」をテーマに、アクティブラーニング (タブレットを使用した予算編成のグループワーク) を取り入れた授業を行っています。
- ・小学生から大学生までを対象に、教員等と相談しながら、授業の進捗状況や学年レベルにあったオーダーメイドの授業を実施します。
- ・職員が講師及びアドバイザーとして授業を行い、児童・生徒のグループワークをサポートします。
- ・グループワークを行うので、基本的には2コマ必要となりますが、1コマでも対応可能です。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 夜間休日は応相談。 開催希望日の3か月前までにご連絡ください。	必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品 などについて	定員：決まりはありませんが大人数の場合、グループ数に応じた職員 (アドバイザー) をご用意する必要があるため、お早めにご相談ください。 必要備品：講師用パソコン (PowerPointが使用できるもの)、プロジェクター、スクリーン、グループに1台のタブレット端末 (※) (※) タブレット端末は、必要個数によってはこちらで準備をすることが可能です。お早めにご相談ください。		
連絡先	部署名・担当者	東京財務事務所 総務課 企画係 太田、船越、東海林	
	プログラム紹介 WEB	https://lfb.mof.go.jp/kouza/zaisei_program.html	
	電話	03-6686-3434	
	e-mail	koho.tokyo@kt.lfb-mof.go.jp	

プログラム名	株の力		
団体名	株式会社教育と探求社		区分 講 師 教
対象者	<input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高	対象分野 <input type="checkbox"/> 学校	主に学校の授業で実施するプログラム

プログラムのねらい

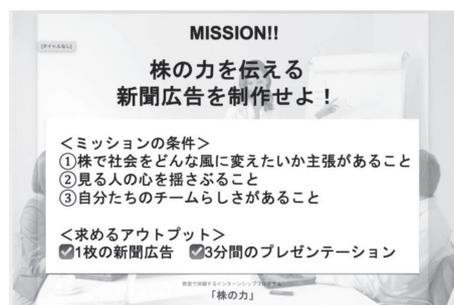
中高生にはあまりなじみのない株式について、教室にいながら体験的に学ぶプログラムです。生徒は三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券のインターンとして、先輩に当たる同社社員から株式の仕組みや機能についてアクティビティに取り組みながら学んでいきます。「株」と「新聞」を教材とし、世の中を大きく動かす「株の力」とはどのようなものなのか、チームでコンセプトをまとめ、新聞広告というスタイルでアウトプットします。

プログラムの内容

必要コマ数 5 コマ

■授業構成

- STEP1 プログラムの目的とミッションを知る
三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券の講師が進行し、プログラムの目的とミッションを伝える。
- STEP2 株の基礎を学ぶ
三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券の講師が進行し、起業家・投資家・社会から見た「株の力」を学ぶ。
- STEP3 広告の基礎を学び、コンセプトをつくる
学校の先生が進行し、ワークをしながら広告の作り方を学ぶ。
- STEP4 新聞広告を制作する
学校の先生が進行し、グループで新聞広告を制作する。
- STEP5 制作した広告について発表する
制作した新聞広告のプレゼンテーションをし、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券の講師が講評する。



■教材

ワークブック・ワークシート・動画教材・シラバス・参考資料



令和5・6年度実績	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校
	<input type="checkbox"/> その他 ()
	令和5年度実績 (都内) 8校 (回) 令和6年度実績 (都内) 6校 (回)
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科 (社会科・家庭) <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等)
	<input type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修
	<input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他 ()

支援活動の概要紹介

金融経済教育について、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券と教育と探求社では上記プログラムのほか、小学生～高校生向けプログラム「お金の力 (VALUE・WILL・CHOICE)」も提供しています。詳細は以下のホームページをご覧ください。
https://www.sc.mufg.jp/company/sustainability/community_education.html

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 実施2ヶ月前までに申込をお願いしております。	必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品 などについて	必要備品：プロジェクタ、スクリーン		
連絡先	部署名・担当者	教育と探求社 創発部・小口	
	プログラム紹介 WEB	https://eduq.jp/cases/business/edu-program-stockmarket/	
	電話	070-1228-6155	
	e-mail	bim@eduq.jp	

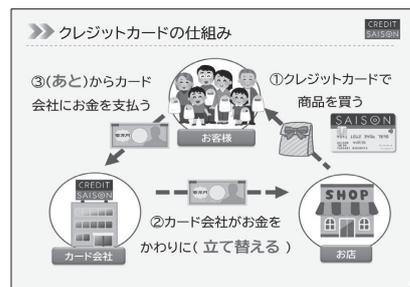
プログラム名	自立した消費者となるために～キャッシュレスの上手な使い方～		
団体名	株式会社クレディセゾン	区分	講 義
対象者	<input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 中学全学年、高校全学年	対象分野	<input type="checkbox"/> 学校

プログラムのねらい

- キャッシュレス決済が身近なことであることを認識し、現状や仕組みを学び、利便性と注意点を理解する
- お金にまつわる実際のトラブル事例から回避する方法やトラブルに巻き込まれないための適切な行動を習得する
- 多様な決済手段の中から適切に選択し、正しい利用ができる自立した消費者になるため、情報を集め比較・検討することの大切さを伝える

プログラムの内容

- 【導入】 「身の回りの支払手段を考えよう」 (5分)**
- ・普段のお買い物からキャッシュレス決済を考える
 - ・身の回りでキャッシュレスが利用できるシーンを考え、身近なところで接していることを理解する
- 【展開①】 「キャッシュレスの現状を知ろう」 (15分)**
- ・クイズ形式で日本のキャッシュレスの現状を学び、これから進展していくことを理解する
 - ・講義形式で海外でのキャッシュレス事情 (中国、スウェーデン等) を学ぶ
- 【展開②】 「キャッシュレスの仕組みと特徴を知ろう」 (30分)**
- ・ワークやクイズを交えながら、各決済手段の特徴と仕組みを学ぶ
 - ・キャッシュレスのメリット/デメリットを考え、両面思考を身に付ける
- 【展開③】 「キャッシュレスにまつわるトラブル事例を知ろう」 (30分)**
- ・キャッシュレスのトラブル事例から問題点と適切な行動を考える
 - ・契約に関する基礎知識を習得する
- 【まとめ】 「キャッシュレスのじょうずな使い方を考えよう」 (20分)**
- ・じょうずにキャッシュレスを利用するポイントを考える
 - ・様々な決済手段の中から自分に合ったサービスを選択する姿勢を身に付ける



※ Zoom を活用したオンラインでの授業実施も可能です
 ※カリキュラム内容や時間配分のアレンジも可能です

令和5・6年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他 ()
	令和5年度実績 (都内) 22(61)校 (回) 令和6年度実績 (都内) 25(42)校 (回)
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科 (社会、家庭科、情報、総合探求) <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA 等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他 ()

支援活動の概要紹介

適切な決済手段の選択・利用ができる自立した消費者育成を目的として、成人を迎える前の世代に対して金融リテラシー教育を行っております。令和4年に成年年齢が18歳に引き下げられたことで「契約」に係る意識付けと金融リテラシーの必要性が一層高まる中、金融現場で働く当社社員が講師役となり、時流に合わせた授業を実施しております。詳細につきましてはお問い合わせくださいませ。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 日程によっては調整をお願いする場合がございます	必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品 などについて	プロジェクター、スクリーン等資料を投影できる環境をご用意ください。 オンライン授業を希望の場合はインターネット接続が可能なPCをご用意ください。		
連絡先	部署名・担当者	CS推進部 代田・齋藤	
	プログラム紹介 WEB	https://corporate.saisoncard.co.jp/sustainability/diversity/csr/teacher/	
	電話	03-6692-5819	
	e-mail	cskikaku@mail.saisoncard.co.jp	

プログラム名	ボランティア活動を考える		
団体名	認定NPO法人さわやか青少年センター		区分 講 教
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高	全年齢対象	対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修
	<input type="checkbox"/> コ		
			ボランティア活動活性化ツール「ふれあいボランティアパスポート」を活用。

プログラムのねらい

「ボランティア活動」という体験活動をなぜするのか。「ボランティア活動」をすると何がどう変わるのか（誰が喜ぶのか）。みんなで考え、答えを見つけていくことを目的としています。

プログラムの内容 必要コマ数 2コマ

- 授業は2コマ。
- 1コマ目(45分)
テーマ:「ボランティア活動を考える」
- ①導入:(3分)
○自己紹介・本日の流れ
- ②展開:(37分)
○自分が考えるボランティアのイメージについて児童生徒発表
○どれがボランティア?:イラスト10枚からボランティアを選び出す。
○「ボランティア活動」について講義
- ③まとめ:(5分)
- 2コマ目:グループ活動(45分)
テーマ:「どのようなボランティア活動をしたいか。」
- ①導入:(3分)
○1コマ目の振り返りと本日の流れ
- ②展開:(37分)
○グループに分かれて、自分たちのしたいボランティア活動を決める。
・なぜその活動に決めたのか。(理由)
・それをすることによって何がどう変わる(誰が喜ぶ)と思うか。(結果)
・どのように取り組むのか。(方法)
○グループによる発表
- ③まとめ(5分)



令和5・6年度実績	<input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校
	<input type="checkbox"/> その他()
	令和5年度実績(都内) 校(回) 令和6年度実績(都内) 校(回)
	<input type="checkbox"/> 教科() <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動(クラブ活動、生徒会活動等)
	<input type="checkbox"/> 教育課程外(放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修
	<input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他()

支援活動の概要紹介

当法人は、ボランティア体験学習を通して子どもたちが「人間力」(自助の力と共助の力)を自ら育むよう支援する団体です。上記プログラム以外でも、ボランティア体験学習に関するさまざまなノウハウを持っています。ボランティア体験学習の児童・生徒向けの授業や教職員、コーディネーターへの研修など、いつでも、ご連絡、ご相談ください。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	要相談(実費等) 可能な限りにおいて、交通費(実費)を希望。
---------	------------	------	-----------------------------------

その他
会場・定員・必要備品などについて

2コマ目のグループ活動において、グループ数に応じた模造紙とマジック(2色かそれ以上)を準備いただきたいです。難しい場合は、ご相談ください。

連絡先	部署名・担当者	ふれあいボランティアパスポート担当・有馬 正史
	プログラム紹介WEB	
	電話	03-6279-9236
	e-mail	info@ssc-npo.or.jp

プログラム名	一度は受けたい「お金と人生」の授業		
団体名	住友生命保険相互会社	区分	講リ
対象者	小 中 高	対象分野	学校
教職員・PTA向けコンテンツあり（マネーセミナー・健康セミナー・がんセミナー等）			

プログラムのねらい

- お金・コミュニケーション・課題解決力など社会で必要とされる様々なリテラシーを身につける
- 「ライフプラン」「自分なりの幸せ」について、インプットだけでなくアウトプットする（自分の未来予想図を描く）
- ※子供たちのウェルビーイング（より良く生きる）のため、「もっと大人達（民間企業）が教育現場に関わり合う世の中になりたい」をコンセプトに、様々な授業支援サービスをご提供しております。

プログラムの内容 必要コマ数 1～2コマ

あなたの未来を強くする **住友生命** お金・コミュニケーション・課題解決力など…
 社会で必要とされる様々なリテラシーを身につける「**出前授業**」を無償提供

- 通常2コマ開催 1コマでも開催可 オンライン開催可 クラス単位開催可 学年単位開催可

一度は受けたい「お金と人生」の授業

成人年齢引下げや学習指導要領の改訂を背景に、住友生命では子どもたちのウェルビーイング（より良く生きる）を実現するため、「もっと大人（民間企業）が教育現場に関わり合う世の中になりたい」をコンセプトに、金融教育の授業支援サービスを提供しております。

■ご検討にあたって

一般的な金融教育 資産運用の大切さについて学ぶ **住友生命の金融教育** お金を切り口として、自分なりの幸せな生き方について考える

- ご活用事例
- キャリア教育の一環として（今後のライフプランとお金について）
 - 受験期後～卒業までの期間に（次のステージへ向かう皆さんに）

- 参加者（生徒）からのご感想
- 投資について何となくは知っていたものの、完全に理解は出来てなかったので学べて良かった。
 - 自分の将来の未来予想図を書くのがとても楽しかった。
 - お金と包丁は同じようなものということに衝撃を受けた。お金も包丁もメリット・デメリットがあるけど、それ以前に使い方に問題があると思った。



令和5・6年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校
	<input type="checkbox"/> その他（ ） 令和5年度実績（都内）0校（回） 令和6年度実績（都内）20校（回）
	<input type="checkbox"/> 教科（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input checked="" type="checkbox"/> その他（社会科・家庭科）

支援活動の概要紹介

弊社では金融教育を中心に、キャリア教育、コミュニケーション、性教育、がん教育、課題解決型授業などの出前授業を小学校～大学まであらゆる将来世代に提供しています（性教育についてはパートナー企業による授業）。また、OECD「金融教育に関する国際ネットワーク（INFE）」が主催する、こども・若者に対する金融教育・金融包摂の推進のための国際的な啓発活動である「グローバル・マネー・ウィーク（Global Money Week）」の主旨に賛同し授業を実施しています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	無料
---------	------------	------	----

その他
会場・定員・必要備品などについて
 プロジェクター・スクリーン等の投影機材をご準備ください。

連絡先	部署名・担当者	都心総括部 都心マーケット推進室 豊田 素良・荒井 礼美
	プログラム紹介 WEB	https://www.sumitomolife.co.jp/about/wellbeing/fr/
	電話	03-6709-8501
	e-mail	sora_toyoda@am.sumitomolife.co.jp remi_sugita@am.sumitomolife.co.jp

プログラム名	～社会保険と生命保険が学べる講師派遣～「リスクに備える」		
団体名	公益財団法人 生命保険文化センター	区分	講 習
対象者	<input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 本プログラムは中学生全学年が対象。別途高校生向けのプログラムもご用意しています。	対象分野	<input checked="" type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 学外 <input checked="" type="checkbox"/> 研修 研修(教員・PTA対象等)の際は、教員向け・社会人向け資料を別途用意。

プログラムのねらい

家庭科や社会科、総合学習の時間等、幅広くご活用いただけます。「足の骨折で入院した場合」の事例やクイズを通して、自分の人生やキャリア形成の過程で不測の事態に備える必要性や、備える方法(社会保険、預貯金、生命保険等)について楽しく学ぶことができます。

プログラムの内容 必要コマ数 1コマ

■プログラムの流れ

- ①将来について考えてみよう
さまざまなライフイベントが待ち構えていることを知り、それらに対応していくためには、将来の自分や家族のことについて考え、自分自身の働く目的や就きたい仕事について考えておくことが大切であることを認識します。
- ②リスクって何？
身の回りにあるリスクをクイズを交えながら学びます。また、リスクに備える方法として公的保障と私的保障について学習します。
- ③民間保険って何？
代表的な私的保障である預貯金と民間保険について、クイズを交えながらそのしくみと特徴を理解します。

■講義資料について

PowerPoint スライドや専用の生徒用ワークシートを使い、グループワーク等アクティブラーニングを意識した双方向による講義を行っています。

■参考

本プログラムの他、①中学校社会科向けプログラム「人生100年時代に必要な備えとは?」、②全科目共通プログラム「成年になるということ」、③カードゲーム教材「ソナソナ」を使った、アクティブ・ラーニングを取り入れた2コマ連続の講座も実施しています。

※マンガ「生命保険って何だろう?」でもリスクに備える方法を学ぶことができます。その他、毎年、全国の中学生を対象に、生命保険の役割などについて理解を深めていただくことを目的とした中学生作文コンクールを実施しています。

《中学生作文コンクール》



《(例)PowerPointスライド》



《ソナソナ》

詳細についてはこちらを参照ください。



◆公正・中立な立場でお話しします。交通費・謝礼金等は一切不要です!複数回の実施、クラス単位での実施も可能です。
◆Zoom等を活用したリアルタイムのオンライン講座や、講義を録画した動画を提供するオンデマンド講座にも対応しています。

講師派遣に関する詳細はこちら

講師派遣に関する詳細はこちら

令和5・6年度実績	<input type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他() 令和5年度実績(都内) 42校(240回) 令和6年度実績(都内) 27校(171回)
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科(家庭科・社会科・公民科) <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動(クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外(放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input checked="" type="checkbox"/> 教員対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他()

支援活動の概要紹介

公正・中立な立場で生活設計や生命保険に関する情報提供等を行うことを目的に、1976年(昭和51年)に設立。「消費者啓発・情報提供活動」「学術振興事業」「調査活動」の事業を3つの柱に、中学・高校・大学等への講師派遣、一般消費者や消費生活相談員等対象の学習会の実施、学校教育用副教材や消費者向け小冊子の作成、生活保障に関する意識や生命保険の加入実態等を探る調査活動を行っています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品などについて	対面講座の場合は、マイク、黒板・ホワイトボード、プロジェクター、PowerPointスライド投影用パソコン等の有無についてお知らせください。 オンライン講座の場合は、使用可能なオンラインツール(Zoomなど)をお知らせください。		
連絡先	部署名・担当者	講師派遣担当	
	プログラム紹介 WEB	https://www.jili.or.jp/lecturer/index.html	
	電話	03-5220-8517	
	e-mail	jitsugaku@jili.or.jp	

プログラム名	体験型安全教育プログラム（犯罪編・SNS編・地震編）		
団体名	特定非営利活動法人 体験型安全教育支援機構	区分	講 師 教 他 (講師養成)
対象者	<input type="checkbox"/> 未 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> コ <input type="checkbox"/> 他	年齢だけでなく、子どもがその時持っている能力＝発達段階に応じてプログラム実施 対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修	本プログラムを用いて指導するための指導士及び指導士補資格取得講座の開催

プログラムのねらい

危機を疑似体験することで、自ら考え行動し命を守る力である「安全基礎体力」(①体力、②危機への知恵・知識力、③コミュニケーション力、④大人力)を身に着けます。
 発達成長段階に沿ったプログラムとなっており、その時の最大限の定着を目指します。
 危機を疑似体験することで記憶に残り、万一の時の自助能力、さらには共助の力を高め、また、成長発達段階で危機回避がまだむずかしい子供でも、練習を繰り返し体験することで、いのちの大切さやそのまもり方を身につけることができます。

プログラムの内容 必要コマ数 各 45 - 60 分

<犯罪編>
 学校から家までの疑似的な通学路を設置し、つきまといや待ち伏せ行為等の察知、声掛けからの回避、連れ去りなどからの脱出、危機遭遇後の克服方法を学びます。具体的にはあやしい人の誘いを「はっきり断る」、危険だと思ったらそこから「離れる、逃げる」、友達を「助ける」、大人に「知らせる」までを体験します。
 また、「あやしい人の特徴」「あぶない場所」を合言葉を用いてわかりやすく説明します。

< SNS 編 >
 投影資料および当団体が制作した動画を用いて、子供たちと対話しながら SNS に潜む危険を知り、安全な使い方を学びます。未就学児・小学低学年児童には、紙芝居を用いてすすめます。プライバシーや写真等を投稿する際の注意点だけでなく、実際にオンラインゲームで知り合った子供を連れ去った犯人から聞き取り調査した、子どもへの接触手口についても説明し、SNS で知り合った人とは「絶対に会わない」ことを伝えます。さらに、やり取りが危険なものであると気づいたり、実際に被害にあった時は、すぐに頼りになる大人へ相談することが大切であることも学びます。
 また、グループチャットなど言葉だけのコミュニケーションにより、友人との関係が悪くなったり、自分が「加害者」になる得ることも合わせて学びます。

<地震編>
 疑似的な「まち」の中で、ブロック塀の崩壊、瓦礫の散乱等を安全な素材を用いて再現し、実際の大地震時の映像、被害に遭った子どもたちの「大地震その時」の言葉や行動を共有することで大地震をイメージさせます。具体的には室内外の危険な場所を知り、揺れから8秒の間に倒れる・動くものから離れる、安全確保の姿勢を取り1分間は揺れを我慢する、その後けがをせずに逃げられるように体を動かす方法を体験します。また避難所での安全対策についても学びます。



令和5・6年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
	令和5年度実績 (都内) 43校 (回) 令和6年度実績 (都内) 44校 (回)
	<input type="checkbox"/> 教科 () <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> PTA 等保護者対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()

支援活動の概要紹介

子供が自分自身を守るだけでなく「危機に対し共に向かい合い、克服するために深い知恵と生き方を体得し、最後は21世紀を作る人間＝大人＝地球市民を育てる」ための、教育プログラムの開発を目指しています。科学的な根拠に基づき、発達段階に沿って自分を守る力＝「安全基礎体力」をつける教育、自助だけでなく共助、公助の心を培う教育、危機を通して子供を大人にする教育、を実施しています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	有料 交通費及び運営費のご負担をお願いいたします
---------	------------	------	-----------------------------

その他 会場、定員・必要備品などについて	プロジェクト及びスクリーン。 体験施設は参加人数、会場の広さ等にあわせて調整して配置します。
-------------------------	---

連絡先	部署名・担当者	清永、林
	プログラム紹介 WEB	https://www.safety-education.org/%e9%98%b2%e7%8a%af%e5%ad%90%e4%be%9b%e5%90%91%e3%81%91/
	電話	03-3946-5203
	e-mail	info@ri-step.co.jp

プログラム名	ディレクトフォース理科実験グループ		
団体名	一般社団法人ディレクトフォース 理科実験グループ	区分	講
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 各学年に応じたテーマ・実験時間・内容を準備	対象分野	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 地域の小・中学生対象の同様の活動にも対応

プログラムのねらい

子供たち自らが安全に楽しく実験することで「驚きと興味」を感じてもらい、結果として「一人でも多くの子供たちに理科が好きになってほしい」「大きくなって科学技術の分野で羽ばたいてほしい」という願いを込めて、自ら開発したテーマで子供達4～5名のグループに講師が一人付き、子供たちとのコミュニケーションを大切に、自然科学をわかりやすく説明することに最も力を入れています。

プログラムの内容

「理科実験教室：出前授業メニュー」

1. 墨流して絵はがきを作ろう
2. 3D表札を作ろう
3. 水をきれいにする活性炭のひみつ
4. 香りの粒を作ろう
5. 冷却パックを作ろう
6. ほかほかカイロを作ろう
7. エタノールで船を走らそう
8. 飛行機はなぜ飛ぶの
9. 食塩水電池を作ろう
10. 電気と風車 風で電気を起こす
11. マヨネーズを作って乳化を学ぼう
12. 水溶液の性質とはたらき
13. クレーンの秘密 滑車のはたらき

*多彩な手作りメニューが子供たちに大人気

14. 光の花を咲かせよう
15. コンピューターの秘密を知ろう
16. モーターを作ろう
17. My 地球儀を作ろう
18. 素数を探せ 数と遊ぼう
19. 身近な熱 人と水
20. 磁石でマジックタワーを作ろう
21. 色と遊ぼう
22. デンプンを探そう
23. 水に浮く力
24. プログラミングしてみよう
25. ミクロの世界をのぞいてみよう 植物の力
26. 音ってなんだろう
27. 水溶液分析



「理科実験教室・実施概要」

- ・開催場所 学校での授業・放課後教室が最も多く、その他科学技術館等の常設館や地区センター等
- ・時間 テーマにもよるが低中学年は45分から60分、高学年は60分から90分（要相談）
- ・実験器材 私共で全て準備・梱包して実験2日前に送付します
- ・費用 実験材料費・器材搬送費・講師交通費などを補う程度の謝礼金をいただきます
- ・お打合せ 私共のイベントリーダーが皆様と緊密に連絡を取りながら進めさせていただきます
- ・日時調整他 原則先着順としますが重複しても開催努力します

令和5・6年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他 ()
	令和5年度実績（都内） 176校（110回） 令和6年度実績（都内） 189校（112回）
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科（理科） <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他 ()

支援活動の概要紹介

一般社団法人ディレクトフォースは2002年9月に、企業の役員など Senior Executive のOBを組織化しその知見・経験を生かして社会貢献することを目的に設立されました。大学での講義、各種講演会、コンサル等の活動を行っています。また、ボランティア活動として小中学生への理科実験教室や中学・高校生向けの授業支援等の幅広い活動を行っています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 先着順を基本としています	必要経費	要相談（実費等） 材料費・器材搬送費・交通費相当の謝礼金
その他 会場・定員・必要備品 などについて	理科実験教室は体験型ですので理科室・家庭科室など実験可能な会場が必要となります。 またパワーポイントでの説明を基本としていますのでパソコン・プロジェクター・スクリーンも必要となります。		
連絡先	部署名・担当者	広報担当 小林慎一郎	
	プログラム紹介 WEB	https://www.directforce.org/DF2022/education/rikaG/index.html	
	電話	03-6693-8020	
	e-mail	rikadf@directforce.org	

プログラム名	スクールマネ部！授業支援プログラム～シェア先生の経済教室～		
団体名	東京証券取引所（日本取引所グループ）		区分 講 師 教
対象者	小 中 高 小学校高学年～高校生・東京都などからの依頼で教員向け研修も実施	対象分野 学校 研修	教員向けのほか、PTA主催の親子経済教室等も実施

プログラムのねらい

私たちの暮らしに密接に関わる経済や金融のしくみを理解し、自ら選択する力を養い、「生きる力」を身につけてもらうことが重要と考えています。

プログラムの内容 必要コマ数 1～2コマ

- ロールプレイ授業「私たちの暮らしと株式会社」 <1時限> : 小学生対象
- ロールプレイ授業「株式会社のしくみと証券市場」 <1時限> : 中・高校生対象（学習指導要領対応）
- プログラムの流れ
 - ①導入（5分）
東京証券取引所の紹介
 - ②講義（15分）
経済とは何か。私たちの生活と経済や株式会社は身近な存在で密接に関わっていることを知る。
 - ③ロールプレイ（20分）
社長役・株主役となり、社長から見た株式の利点、株主から見た株式のメリット・リスクを知り、株式会社のしくみを学ぶ。
 - ④まとめ（5～10分）
株式会社は、経済にとってなくてはならない存在で、400年続く仕組みであり、自分達も経済の一部であることを気づかせる。



<他プログラム>

【出前授業】

- ◆中・高校生対象
 - 授業「社会や経済の動きと株価」 <1時限>
 - ボードゲーム授業「ブルサ」（中高生版） <2時限>
 - キャリア教育など <1時限～>

【受入授業】

- ◆小・中・高校生対象
 - 東証見学（30分）+ DVD上映・授業「株式会社のしくみ」（60分） <標準：1時間30分> 定員5～40名

令和5・6年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他（ ） 令和5年度実績（都内） 23校（回） 令和6年度実績（都内） 37校（回）
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科（社会、公民、政治経済、家庭科、探究等） <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input checked="" type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input checked="" type="checkbox"/> その他（社会科見学・都内研修）

支援活動の概要紹介

東京証券取引所（日本取引所グループ）では、正しい金融知識を持ってもらうために、中立な立場で様々なプログラムを提供しております。出前授業は担当の先生と相談し、ご要望に沿った内容の授業を行います。オンラインも可能です。また、受入授業では、実際のマーケットを見学し、株式のしくみを学ぶため、社会科見学、都内研修などに利用されています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 余裕をもってお申し込みください。	必要経費	無料 ボードゲーム授業「ブルサ」を行う場合は、教材返送料をご負担いただけます。
その他 会場・定員・必要備品などについて	パソコン・プロジェクター、スクリーンを用意してください。 出前授業の定員については20名程度から 要相談（受入授業の定員については5名から） 出前授業をオンラインにて実施の場合は、使用ソフトは学校様とご相談いたします。		
連絡先	部署名・担当者	金融リテラシーサポート部 町田	
	プログラム紹介 WEB	https://www.jpx.co.jp/tse-school/	
	電話	050-3377-8988	
	e-mail	school@jpx.co.jp	

プログラム名	僕の私のフォーマルウェア		
団体名	株式会社東京ソワール	区分	講 義
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 年齢に応じて内容をアレンジしているが小学生は3年生以上が理想。	対象分野	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外
		出前授業と職業体験の受入れで提供しているプログラム。その他分野は応相談。	

プログラムのねらい

東京ソワールでは、衣服を通じてところを育み、社会活躍する力を得る教育活動に力を入れています。子ども達がファッションの楽しさを感じて、ものづくりに興味を持てるように、デザイナー職を具体的な「出前授業」と「職場体験」という形式で提供しています。

プログラムの内容

必要コマ数 2コマ

- ① 講義 15分 「フォーマルウェアとは?」「洋服ができるまでの仕事の流れ」
- ② ワークショップ 60分 「イメージマップボードの作成」デザイナーがプレゼンテーションに利用するデザインテーマを可視化したボードを作成し、実際のものづくりを体験する。
- ③ プレゼンテーション 15分 ②の作品について発表する。



5.どんなお仕事があるか?
②デザイナー



インタビューで分かったこと

デザイナーのしごと

デザイン・素材・パターンのバランスが大切!!




プレゼンテーション用マップ デザイン画

- ① 市場調査
- ② デザイン画を描く・素材選び
- ③ マッププレゼンテーション
- ④ トワル、サンプルのチェック

令和5・6年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和5年度実績 (都内) 12校 (回)	令和6年度実績 (都内) 14校 (回)
	<input type="checkbox"/> 教科 () <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他 ()		

支援活動の概要紹介

東京ソワールでは、衣服を通じてところを育み、社会活躍する力を得る教育活動に力を入れています。対象年齢に応じプログラムをアレンジできますので、学校の学習支援等ご相談ください。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 3か月前にはご依頼ください。	必要経費	可能な限り、材料費または交通費を希望。
その他 会場・定員・必要備品 などについて	プロジェクター、スクリーンを用意してください。		
連絡先	部署名・担当者	人事総務部 CSR担当 齋藤由美	
	プログラム紹介 WEB	https://www.soir.co.jp/sustainability/community/	
	電話	03-6372-6710	
	e-mail	csr@soir.co.jp	

プログラム名	言語聴覚士のしごと紹介		
団体名	一般社団法人 東京都言語聴覚士会		区分 講 リ
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> こ <input type="checkbox"/> 他	教員の方や保護者の方向けのプログラムもご相談ください。	対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修

プログラムのねらい

言語聴覚士は、言語聴覚障害や摂食嚥下障害のある人や家族を中心としたその周囲の人たちに、評価・指導・訓練などの専門的なサービスを提供し、障害の軽減をはかるとともに、その人にふさわしい生活の実現を支援する職種です。我々の提供するプログラムを通して子供たちが、当事者の方やご家族、言語聴覚士から直接話を聞き、またグループワークを通し様々な立場に立って考えることで、思いやること、他者を受け入れること、相互理解のために工夫することを学ぶことを目的としています。

プログラムの内容 必要コマ数 1～2コマ

- ・言語聴覚士の仕事紹介
 - ・言語聴覚士の実際の関わりの紹介（事例を通した紹介など）
 - ・「ことば」「きこえ」「飲み込み」などに関する体験型のワーク
 - ・夏休みの自由研究イベントでは、筋萎縮性側索硬化症（ALS）の当事者の方とコミュニケーションをとるための透明文字盤の作成・実際に使用してのコミュニケーション、ハイテクエイドの体験や補聴器体験・聴力検査体験・指文字体験なども行いました。
 - ・吃音に関するオンラインイベントも行いました。教員の方向けの症状・配慮についてなどの講義も可能です。
 - ・毎年当事者の方の思いを聞く講演会も開催しています。2024年度は難聴当事者の方に就労についてなどを語っていただきました。
- 上記以外にも、言語聴覚士の関わる領域（コミュニケーション、摂食・嚥下、聴覚、発達領域など）でのご要望があればご相談ください。
 ※中高生向けにキャリア教育の一貫として、国家資格である言語聴覚士の職業紹介（養成課程の紹介など）も行えます。



令和5・6年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他（ ）	令和5年度実績（都内） 6校（回）	令和6年度実績（都内） 7校（回）
	<input type="checkbox"/> 教科（ ） <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）		

支援活動の概要紹介

（一社）東京都言語聴覚士会は、①東京都の地域の医療・保健・福祉・教育に貢献する、②言語聴覚士の質の向上をはかる、③言語聴覚領域の学問としての発展に寄与する、④関連団体との協働を実践する、⑤全国組織である日本言語聴覚士協会との連携をはかる、の5つの活動を目的に活動しております。これらの一環として当プログラムを実施しております。本プログラム以外にも、様々なプログラムがありますので、学校の学習支援や部活動支援等、ご相談ください。詳しくは、お問合せください。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 講師派遣調整の都合上、希望日の2か月前までの申し込みをお願いいたします。	必要経費	無料 ※島しょ部の場合はリモートでの実施をお願いしております。
その他 会場・定員・必要備品などについて	プロジェクター、スクリーンなど		
連絡先	部署名・担当者	みらい事業部・小林祐貴	
	プログラム紹介 WEB	一般社団法人 東京都言語聴覚士会ホームページ：http://st-toshikai.org/	
	電話	なし	
	e-mail	yuuki.kobayashi@st-toshikai.org	

プログラム名	「助け合う社会を支える一人になる」赤十字や血液事業(献血と輸血)から考えるわたしたちの社会		
団体名	東京都赤十字血液センター	区分	講 教
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 小学校については高学年（主に6年生）	対象分野	<input type="checkbox"/> 学校

プログラムのねらい

苦しむ人を救おうとする赤十字の理念や、輸血が必要な人を皆で支える血液事業の仕組みについて学びます。献血で救われる命があること、自分たちにも誰かの命を救う力があることを、輸血を受けた方の体験談（動画視聴）などを通して実感していただきます。献血がまだできない年齢でも、プログラムを通して学んだことをご家族や周りの方に話すことも、ひとつの大きな献血協力であることを伝えます。プログラム全体を通して助け合いについて考え、「自分にもできることがある」と気づいてもらうことを狙っています。

プログラムの内容

必要コマ数 1コマ

- 赤十字について
赤十字って何？ どうして赤十字ができたの？
戦争で負傷した兵士を、敵も味方も関係なく救助したアンリーデュナンの話
- 血液事業について
血液は身体の中でどんな役割があるの？ → 生きていくうえで血液が必要不可欠である
輸血は何をするの？ → 病気や怪我で血液を補う必要がある患者さんを救うために、1日に約14,000人の献血協力が必要である
→ 実際に病気で輸血を受けられた方の体験談を動画視聴し、血液の大切さを実感していただく
献血ってなに？ → 献血の目的や具体的な方法、献血ルームの様子を紹介
- 助け合う世の中の一人になる
人は誰しも、救う側にも救われる側にもなる。お互いが助け合うことで苦しんでいる人を救える社会を築くことができる。まずは身近なことから、自分にできることを考えてみる。ほかのひとの苦しみ「気づき」、「考え」、「実行する」ことができる人になろう！！

--	--	--	--

令和5・6年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和5年度実績 (都内) 26校 (回)	令和6年度実績 (都内) 19校 (回)
	<input type="checkbox"/> 教科 () <input checked="" type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他 ()		

支援活動の概要紹介

日本赤十字社の血液事業の「献血」が、医療に必要不可欠な輸血用血液を集める国内唯一の助け合いであることを学習する。赤十字の理念や日本赤十字社が行う9つの事業についての学びから、世の中には、「献血」以外にも様々な助け合いが必要とされており、自分には何ができるのかを考える機会を与える。相互扶助・相互支援の必要性、「献血」を含めた将来の助け合いの担い手として、考えるきっかけとする。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 先着順、平日の開催とさせていただきます。平日以外は、ご相談ください。	必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品 などについて	【必要備品】 パソコン (パワーポイント搭載)、プロジェクター、スクリーン、マイク、スピーカー 会場や人員については、事前の打ち合わせの際に確認させていただきます。 プログラムの所要時間は45～90分程度。ご要望に合わせて調整可能です。		
連絡先	部署名・担当者	東京都赤十字血液センター 総務課企画係 直井裕介・坂本菜織	
	プログラム紹介 WEB	https://www.bs.jrc.or.jp/ktks/tokyo/special/m6_07_index.html	
	電話	03-5272-3512	
	e-mail	tky_kikaku@ktks.bbc.jrc.or.jp	

プログラム名	学ぶ楽しさと成長実感と一緒に学び方を体得する「漢字学習プログラム」		
団体名	公益財団法人 日本漢字能力検定協会		区分 教
対象者	<input type="checkbox"/> 未 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 他	大人も一緒に取り組める内容です。	対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 教員やPTAを対象とした研修でもプログラムの紹介実績があります。

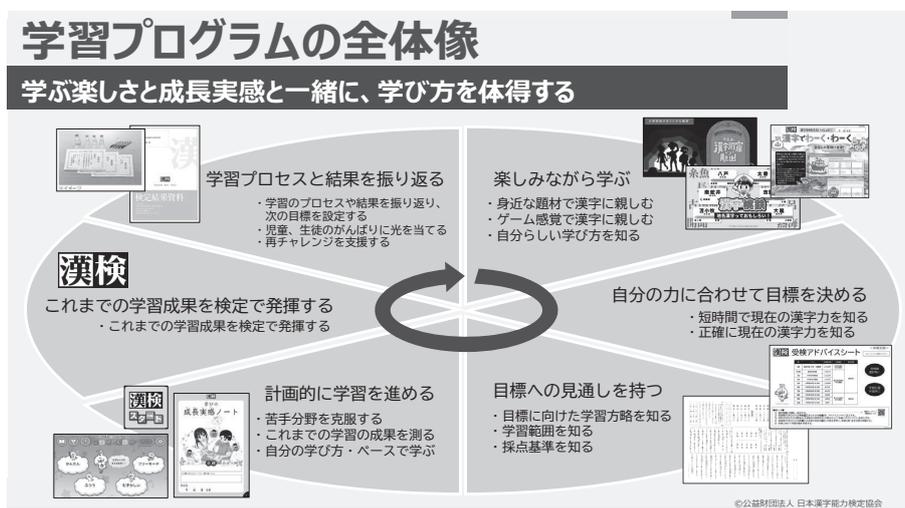
プログラムのねらい

学習者に対して、自身の学習目標を自己選択・自己決定しながら学びに取り組める環境を整備することで、学ぶ楽しさと成長実感と一緒に学び方の体得を目指します。

プログラムの内容 必要コマ数 自由

多様な無償学習教材・コンテンツを組み合わせた学習プログラムを提供しています。教材・コンテンツのみを提供するだけでなく、職員が活用を希望する団体へ伺い、現状や課題に応じた学習プログラムのご提案や、活用事例をご紹介することも可能です。

※状況や課題に合わせて必要な教材・コンテンツ等を選択し、授業や家庭学習、放課後学習等で活用いただくイメージです。



令和5・6年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和5年度実績 (都内) 1,386校 (回)	令和6年度実績 (都内) 1,350校 (回)
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科 (国語) <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input checked="" type="checkbox"/> その他 (コミュニティ・スクールの活動や地域学校協働活動等)		

支援活動の概要紹介

弊協会は、コミュニティ・スクールの活動や地域学校協働活動における学習支援活動の伴走支援を行っております。地域・学校・家庭が連携・協働した持続可能な学びの場づくりを通じて、子供の学びと育ちのさらなる充実や、学びによる地域コミュニティの活性化に取り組んでいます。文部科学省「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動に係る協力団体」や全国コミュニティ・スクール連絡協議会の賛助会員としても参画しており、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を応援しています。

対応可能な時期	その他 随時お問い合わせください。	必要経費	無料 検定を受検する場合、検定料は受益者負担となります。
その他 会場・定員・必要備品 などについて	漢字学習プログラムは何名からでも利用いただけます。団体として検定を実施する場合は、志願者が10名以上必要です。		
連絡先	部署名・担当者	CS推進部 CR課 学びの共創支援チーム 松本 優弥 (まつもとまさや)	
	プログラム紹介 WEB		
	電話	075-757-8584	
	e-mail	gakushushien1@kanken.or.jp	

プログラム名	安全教育プログラム「ぼうさい探検隊」		
団体名	一般社団法人 日本損害保険協会	区分	教
対象者	<input type="checkbox"/> 小 学校教育以外の場では、保護者などの大人と一緒に取り組むことが望ましい。	対象分野	<input checked="" type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 学外

プログラムのねらい

「ぼうさい探検隊」とは、子供たちが楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、マップにまとめる実践的な安全教育プログラムです。子供たちの防災・防犯・交通安全意識が向上するほか、まち探検を通じた地域への関心・愛着が生まれる効果が期待できます。また、専用タブレットを利用して安全マップを作成することもできるため、ICT教育推進の一助にもなります。

プログラムの内容

必要コマ数 3～5コマ

■プログラムの流れ

◎指導者の事前準備

- 探検の目的を決定（例：通学路の危険箇所を見つけ、事故に遭わないために注意する点を話し合う）
- 探検コースの下見
- タブレットを使った「デジタルマップ」、「模造紙マップ」のどちらを作成するか決定

◎まち探検当日（時間配分・進め方の一例）

1. 集合・事前学習（30分）

探検前にまちの危険などを学習するため、まち歩きの手帳を子供たちに指導し、どのような所を探せばよいか、マップづくりのポイントなどを教えます

2. グループ編成（30分）

グループごとに集まって、班長・副班長・地図係・インタビュー係などの役割を決めます

3. まち探検（フィールドワーク）に出発（60分）

危険な場所や「子ども110番の家」のような安全な場所を見つけたら、白地図にシールを貼ったり、ワークシートやタブレットに書き込んだりします
地域の方や警察署・消防署などの方にインタビューしてみましょう（あらかじめ許可を得ておくことでインタビューがスムーズに進みます）

4. マップづくり（60分）

模造紙マップの場合の準備品

- 記入したワークシートとインタビューシート ●撮影した写真プリント ◎模造紙 ●スティックのり
- はさみ ●マジック（5～6色） ●ポストイット（4色あると便利。シールと色を合わせるとよい）
- マークシール など

※デジタルマップは、タブレットへの入力のみでマップが自動で作成されるため、準備品はありません。

5. マップ完成、マップ発表会

クラス内などで、グループごとに作成したマップについて発表し、探検で発見した気づきを共有します。（タブレットでマップを作成した場合は、電子黒板などに映し出してクラス内で共有することができます）

まち探検の様子



マップづくりの様子



第21回マップコンクール作品例



模造紙マップ



デジタルマップ

ぼうさい探検隊特設サイト



ぼうさい探検隊

検索

令和5・6年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他（ ）	令和5年度実績（都内） 14校（回）	令和6年度実績（都内） 13校（回）
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科（社会科） <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）		

支援活動の概要紹介

日本損害保険協会は、損害を未然に防ぐ教育や地域防災の意識向上の活動を支援しており、その一環として「ぼうさい探検隊」の普及に取り組んでいます。また、2004年度からは毎年、文部科学省などの教育関係機関等に後援いただき、「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」を実施しています。これまでの参加人数は計235,000人を超え、作品数は約35,000点にのぼります。2024年度においては、全国419もの小学校や児童館などから、7,590人が参加し、1,413点の作品をご応募いただきました。詳しくは上記二次元コードより、「ぼうさい探検隊特設サイト」をご確認ください。

対応可能な時期	その他 資料提供はしておりますが、講師派遣は行っていません。	必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品などについて	コンクールにご応募される方には、以下をご提供を行っております。 ①まち探検のノウハウをコンパクトにまとめた「実施マニュアル」、事前学習に役立つ手引きを無料提供 ②マップ作成アプリを搭載した当協会オリジナルタブレットの無料貸出し ③模造紙マップ作成時に使える実施キットの無料提供（模造紙1枚、マジック5色、マークシール5色、ポストイット1個）		
連絡先	部署名・担当者	業務企画部啓発・教育・防災グループ（杉村、笹原）	
	プログラム紹介 WEB	https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai/index.html	
	電話	03-3255-1215	
	e-mail	keihatsu@sonpo.or.jp	

プログラム名	弁理士による知的財産特別授業		
団体名	日本弁理士会関東会		区分 講
対象者	未 高	小 中	対象分野 学校 学外

プログラムのねらい

小中高等学校への知的財産教育支援活動

1. 早い段階での知的財産教育の必要性
 知的財産教育とは、自由な発想、創意工夫の心を涵養するものであるとともに、年齢に応じた知的財産制度の理解を図り、ひいては我が国における知識経済社会を支える人的資源の育成のための端緒を開こうとするものであります。この教育はなるべく早い段階から行うことが効果的であり、我が国の将来を担う小中高校生に対する知的財産教育の支援を継続的に行うことが必要であると考えています。

2. 知的財産特別授業の狙い

(1) 小学校向け知財特別授業 小学生向けの知財教育として、次のような狙いの授業を行います。

① 「知財授業」

イ) 優れた発明に触れることにより、発明を生み出す人間の知恵と可能性について学び、これを生み出す人間の尊厳について考える。
 ロ) 自然の中にある不思議に触れるとともに、その理由をひも解き、考える力と応用する気持ちを育てる。
 ハ) 発明を通じて未来への夢を刺激する。

② 「発明工作授業」

イ) 課題解決型の工作授業を通じて、課題を解決するための手段（完成例・正解例）が一つではないことを理解してもらう。
 ロ) 失敗は成功のもとであり、決して無駄にならないことを理解してもらう。

(2) 中学校向け知的財産特別授業 中高生向けの知財教育として、次のような狙いの授業を行います。

イ) 社会教育の一環として、知的財産権制度の概要を理解する。
 ロ) 他人の知的財産の尊重の必要性につき考える。
 ハ) 優れた発明に触れることにより、発明を生み出す人間の知恵と可能性について学び、これを生み出す人間の尊厳について考え、併せてその保護の必要性につき理解する。
 ※中高生向けに「発明工作授業」を行なうことも可能です。

(3) 小中高等学校向けキャリア教育授業
 知財にかかわる専門職である弁理士について、その資格取得方法、仕事内容、キャリア形成などについて紹介し、子供たちの将来への可能性や職業の選択肢の幅を広げる。

プログラムの内容

小学生向け具体例

1. 「発明ってなあに？」15分程度
 電子紙芝居（パソコン用パワーポイントソフトで作成）などを用いて楽しく「発明」のお話をします。

2. 「発明工作授業」45分程度
 子どもたちにテーマと材料を与え、自らのアイデアをもとに工作をしてもらいます。
 「解決方法は1つではない。失敗は成功のもと。」という事をモノ作りを通して実感し、学ぶことができます。

中高生向け具体例

1. 「知的財産の基本知識」15分程度 2. 「活用事例とトラブル事例の紹介」15分程度
 3. 「キャリア教育弁理士編」10分程度 4. 「質疑応答」10分程度
 ※より具体的な授業例については、弊会HPにも掲載がございますので是非御覧頂けますと幸いです。
<https://ipe.jpaa-kanto.jp/examples/>

令和5・6年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他（ ） 令和5年度実績（都内）17校（回） 令和6年度実績（都内）22校（回）
	<input type="checkbox"/> 教科（ ） <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）

支援活動の概要紹介

日本弁理士会関東会では、知的財産権に関する専門家である弁理士を小中高等学校に派遣して、知的財産を理解してもらうための知的財産特別授業（出前授業）を行っています。これは、政府により発表されている「知的財産推進計画」の趣旨を受けて、知的財産に関する子供たちへの教育や啓発の充実のために、当会が実施している施策の一つであります。当会では、この知的財産特別授業を通じて、未来を担う子供たちの「知的財産マインド」を育成し、子供たちに、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む姿勢を身に付けてもらいたいと考えています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 3/10～3/31を除く	必要経費	要相談（実費等） 実費：講師料、材料費等 費用負担については直接お問い合わせください。
その他 会場・定員・必要備品などについて	上記以外にもたくさんのコンテンツがあります。ご希望の場合、パンフレットを送付しますので、03-3519-2751 までご連絡ください。一部のコンテンツについては、（ https://ipe.jpaa-kanto.jp/about/ または https://www.jpaa.or.jp/activity/teaching/ ）に公開しています。 必要備品：PC、プロジェクター、スクリーンをご用意ください。 予算や開催時期の関係上、ご希望に沿うことができない場合もございます。		
連絡先	部署名・担当者	日本弁理士会関東会事務局 知財教育担当	
	プログラム紹介 WEB	https://ipe.jpaa-kanto.jp/	
	電話	03-3519-2751	
	e-mail	edu-kanto@jpaa.or.jp	

プログラム名	ワクワクゆめ教室～楽しみながら自己探究&夢発見～		
団体名	一般社団法人日本ゆめ教育協会		区分 講
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> コ	小学生は関係性づくり、中高生はキャリア形成のきっかけに活用いただくことが多いです。	対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修
			教員研修では、ポジティブな関わりと可能性を引き出す実践的アプローチを紹介

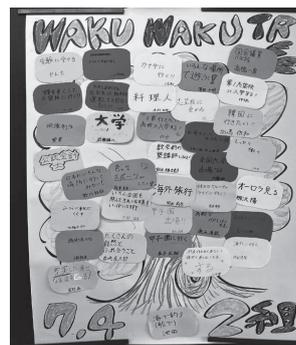
プログラムのねらい

- ・ゲーム要素やチーム活動を通して、楽しみながら自分の興味・関心を明確にし、夢としてまとめる。
- ・全員が夢を発表し合い、互いの夢を知り、応援し合う関係性を育む。
- ・夢という成果に向かって自己を探究し、一つの形にまとめるプロセスを学ぶ。
- ・夢を持つことで、学習・スポーツ・趣味・生き方の原動力を明確にする。

プログラムの内容

必要コマ数 2コマ

- ① 導入 (10分)
 - ・講師自己紹介と授業の目的の説明、夢の定義
- ② アイスブレイク (10分)
 - ・簡単な身体活動で緊張をほぐす
 - ・GOOD/CLAP/SMILEの3つのキーワード
- ③ 夢発見プログラム (50分)
 - ・タイムアタック形式で、夢の種となるキーワードを書き出す
 - ・「夢探検マップ」でキーワードを広げ、深める
 - ・「夢まとめワーク」で夢を具体的に言語化する
 - ・夢カードに記入し、成果物として残す
- ④ 夢発表&ワクワクツリー作成 (15分)
 - ・全員が夢とその理由をクラス全員に発表
 - ・発表後、夢カードをワクワクツリーに貼り付け、授業後も掲示
 - ・掲示によって、互いの夢を継続的に意識し、承認し合う関係を育む
- ⑤ まとめ (5分)
 - ・夢発見、夢発見をした全員にエールを送る
 - ・夢を叶えるために必要な視点や行動のヒントを共有



令和5・6年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和5年度実績 (都内) 5校 (回)	令和6年度実績 (都内) 4校 (回)
	<input type="checkbox"/> 教科 () <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		

支援活動の概要紹介

当協会では、夢を「これから未来に起こる出来事で、それが叶ったら嬉しい・ワクワクすること」と定義しています。夢を持つことにより、将来の自分に対する期待感が高まり、現在の自分にも自信と努力を続ける勇気が育まれます。出前授業を担う講師陣は、多様な職業に携わる人材で構成されており、それぞれの実体験に基づいたメッセージは、子供たちにとって説得力と共感を伴う学びの機会となっています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 土曜授業も対応可能です	必要経費	要相談 (実費等) 教材 (ワークブック・夢コイン) 生徒一人あたり500円 講師代・講師交通費等は応相談
その他 会場・定員・必要備品などについて	・クラス単位で実施複数クラス同時開催可能 (各クラスにメイン講師1名+サポート1名) を基本としています。 ・必要備品は、1クラスあたり模造紙1枚、色画用紙6色各1枚、両面テープ1本の提供をお願いいたします。 ・生徒のアンケート等の印刷をお願いします。		
連絡先	部署名・担当者	代表理事 菅野知良	
	プログラム紹介 WEB	一般社団法人日本ゆめ教育協会ホームページ www.yumemap.com	
	電話	03-6450-8360 (留守のことが多いため菅野の携帯 090-4221-6440 に直接電話かメールにて連絡をお願いします)	
	e-mail	james@yumemap.com	

プログラム名	何を書いたらいいか悩まない！ 空色ことば教室オンライン「読書感想文ツアーズ」		
団体名	NPO 法人マナビエル		区分 講 講 教
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> コ <input type="checkbox"/> 他	推奨学年は小学3～中学1年生くらい、それ以上の学年は作文・意見文・小論文も対応可	対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修 ●教員向け指導手順の研修 ●保護者向け教育講座も実施可能

プログラムのねらい

【定義・ポイント】読書感想文は「ことばで自分を伝える場」
 【学習のねらい】ことばで自分を伝えることの大切さを学び、自分らしい視点に自信が持てる
 【ゴールの姿】子供たちが何を書いたらいいかわかり、書きたい！次も書けそう！と思える原動力を生む
 (大人向け) 読書感想文で育む自己表現の力が、作文・意見文・小論文はもちろん、選抜試験や就職などの自己実現にもつながる

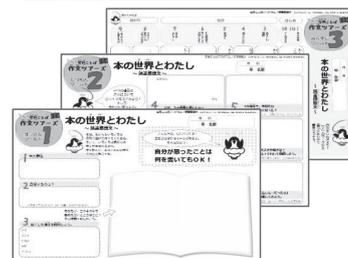
プログラムの内容

必要コマ数 1コマ

【学習の3ステップ】

- ①本の中で自分らしい視点・感情・意見と出会う…本を読み親しむことで、想像を巡らせ、多様性を知り、自分らしさに自信が持てる
- ②それを言語化する方法を体験する…自分の感情や意見には正解・不正解はないことを知り、素直に言語化する体験を重ねる
- ③文章表現の苦手意識をなくす…作文に苦手意識を持つことなく、ことばで自分を表現し伝えることの楽しさと喜びを知る

- (1) 導入 /10分
音読ワーク…あるテーマの文章を提供、みんなで読み合わせ
- (2) 準備ワーク /10分
ピントをあわせるワーク…一人ひとり気持ちや考えは違うことを知る
- (3) レクチャー /10分
読書感想文の3つの心がまえ…苦手意識を持たずに取り組める3つの視点
1.心が動いたところに焦点をあてる 2.自分の気持ちや考えが大事 3.正解はない
- (4) メインワーク /10分
空色ことばワークシート…書き始めは自分の感情や意見から
- (5) しめくり /5分
ワークシート活用の説明…自分で書き進められる読書感想文オリジナルワークシート



※2コマの場合は、(4)のメインワークでワークシートを最後まで書き進め、(5)でグループ共有の時間を設けます
 ※教員向けの場合は、ことばで自分を伝える力のサポート方法、ワークシートを進める際のかかり方や問いかけ方をご説明します
 ※保護者向けの場合は、ことばで自分を伝える力が将来に向けてどのように求められているか、親だからできるかかり方をお伝えします

令和5・6年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> その他(東京都以外の公立小学校、私立小学校、生涯学習課の企画講座、放課後子供教室) 令和5年度実績(都内) 校(回) 令和6年度実績(都内) 1校(回)
	<input type="checkbox"/> 教科() <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動(クラブ活動、生徒会活動等) <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外(放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input checked="" type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他()

支援活動の概要紹介

弊団体は、一人ひとりの自分らしいことばを引き出し、多様なことばの表現の場を創る団体です。ことばで自分を伝える力を高めるランゲージアーツの6つの言語技術による〈言語化〉が、自己理解・自己表現につながり、自己実現への道を切り開くことを伝えていきます。正解のない問いに対して「ことばにする」出張授業、ワークショップの進行デザインワーク教材の制作、対話のファシリテーションなど行っています。読書感想文のオンライン1コマの基本ワークショップ以外も、条件により対応可能です。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	要相談(実費等) 学校で対面実施の場合は交通費を希望 ワーク教材費で相談
その他 会場・定員・必要備品 などについて	オンライン実施のために必要な教室環境(zoom、Google meetなど)のご準備と、先生のサポートをお願いします。また、可能であれば使用可能な共有アプリ(スクールタクト・ロイロノートなど)のトライアル活用もご相談させていただきます。		
連絡先	部署名・担当者	代表理事：志田、理事：松田、コーディネーター：門田	
	プログラム紹介 WEB	空色ことば教室サイト https://sorairokotoba.com/	
	電話	03-6822-7561	
	e-mail	info@manabi-el.org	

プログラム名	体験型防災教育コンテンツ「HIRAQ（ヒラク）」		
団体名	三井住友海上火災保険株式会社		区分 教
対象者	<input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 中学生・高校生をメインの対象とするが、小学生については教員判断のもと実施可。	対象分野	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 授業の他、部活動等での実施も可。

プログラムのねらい

体験型防災教育コンテンツ「HIRAQ（ヒラク）」は、実際に起こり得る「避難所生活」「緊急避難」「帰宅困難」の3つの被災シナリオにおいて、避難した場所やそこに居合わせた人といった周辺情報やヒントを元に、どう対処するかを4～6人で議論しながら解決策を考えるコンテンツです。
 たった一つの正解を探すのではなく、参加者が自由にアイデアを出し合うような仕組みで知識をアップデートし、自ら考えて行動する力を養っていくことを重要視しています。
 また被災シナリオの中で、お年寄りや外国人といった“他者への視点”への気づきを得ることで、自分が住んでいる地域の人々や、その地域特有の問題を想像する機会となることを目指しています。

プログラムの内容 必要コマ数 1コマ

- ①導入（5分）
 - ・体験型防災教育コンテンツ「HIRAQ（ヒラク）」の目的説明
- ②ディスカッション（全3問、25～30分）
 - ・コンテンツの掲載に沿って、全3問につきグループ毎にディスカッションを実施
- ③ベストアイデアの共有（5分）
 - ・ディスカッション全3問から導き出した各グループのベストアイデアを共有
- ④まとめ（5分）
 - ・事後学習の観点や防災 Tips について説明

令和5・6年度実績	<input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他（2025年3月リリースのため、令和5～6年度実績なし） 令和5年度実績（都内） 0校（回） 令和6年度実績（都内） 0校（回）
	<input type="checkbox"/> 教科（ ） <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）

支援活動の概要紹介

三井住友海上火災保険株式会社は、お客さまの防災・減災教育や災害に強い社会づくりを後押しするとともに、保険本来の機能である事故・災害時の補償にとどまらない、新たな価値を提供していきます。「HIRAQ（ヒラク）」以外にも、若年層をメインターゲットとするコンテンツを多数で用意しております。
 詳細は、お問合せください。

対応可能な時期	その他 本コンテンツは、特別な防災知識を持つファシリテーターがいなくても実施可能。	必要経費	無料 学校で導入する場合は無償で提供（場合によっては個数制限がある可能性あり）。
その他 会場・定員・必要備品などについて	なし		
連絡先	部署名・担当者	広報部・CXアドクリエーションチーム（高橋・中山・今井）	
	プログラム紹介 WEB	なし	
	電話	03-3259-1192	
	e-mail		

プログラム名	介護から豊かさを学ぶ		
団体名	NPO 法人未来をつくる kaigo カフェ		区分 講リ
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> コ	小学生4～6年、中学生・高校生は全年齢対象	対象分野 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 学外 <input type="checkbox"/> 研修 主に学校の授業で活用できるプログラム。その他分野も応相談

プログラムのねらい

地域での助け合いがますます必要となる中で、日頃から地域社会と接点をもつことや異なる価値観を理解することが求められています。立場の異なる様々な人とコミュニケーションが必要な介護は気づきの宝庫です。介護を切り口に「多様性の時代」を生き抜くヒントを共に考える出張授業を行います。介護に関わる職や魅力、コミュニケーション、つながりを通じた「気づき」を紹介し、多様な人たちが「豊かな人生」を送るためのヒントを考える授業です。

プログラムの内容

必要コマ数 1コマ or 2コマ

■プログラムの流れ

- ①導入（5分）
自己紹介
本日の流れの説明
- ②講義（15分）
介護ってなんだろう？概念やこれまでの歴史、役割について等解説
介護の仕事についたきっかけややりがいを紹介（講師1～3名）
介護と多様性 共生社会の事例について紹介（20分）
- ③個人ワークとグループワーク（30分）
※テーマ、時間配分等は、1コマか2コマの場合かによって学校と相談して決めます。
- ④まとめ（15分）
発表とまとめ



令和5・6年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他（ ）	令和5年度実績（都内） 4校（回）	令和6年度実績（都内） 5校（回）
	<input type="checkbox"/> 教科（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動（クラブ活動、生徒会活動等） <input type="checkbox"/> 教育課程外（放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等） <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他（ ）		

支援活動の概要紹介

当法人では、子供たちが介護を身近に知ること、自分に何ができるか？を見出すヒントを得てもらうことを目的としており、主に小中高生を対象として、介護や多様性を伝える取組を行なっています。上記のプログラム以外にも、認知症や介護ロボット、ヤングケアラー当事者にまつわるプログラム等様々ありますのでご相談ください。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	要相談（実費等） 可能であれば、交通費を希望。
その他 会場・定員・必要備品 などについて	プロジェクター・スクリーン		
連絡先	部署名・担当者	代表 高瀬 比左子	
	プログラム紹介 WEB	https://mirror.asahi.com/article/14540286	
	電話	090-3908-3892	
	e-mail	info@kaigocafe.com	

プログラム名	2026年度「新聞検定」(読売新聞、読売 KODOMO 新聞)		
団体名	読売新聞東京本社 新聞検定事務局	区分	教 他 (検定試験)
対象者	小 中 高	対象分野	学校 学外

プログラムのねらい

知識や記憶量だけを試すテストと異なり、実際に新聞を読みながら答える形式の検定です。新聞や長い文章の読解力向上のきっかけになることを目指しています。

プログラムの内容

必要コマ数 1コマ

新聞検定は①新聞から情報を正しく読み解く力②視野を広げてものを見る力③自分の考えを正しく伝える力——の、3つの「力」の向上を目指して、2015年に始まった検定試験です。知識や記憶量だけを試すテストと異なり、実際に読売新聞または読売 KODOMO 新聞を読みながら答える形式の検定です (新聞検定 HP < <https://www.shimbun-kentei.com/> >)。

無料で受検できるうえ、学校やクラス単位での「団体受検」も受け付けています。

例年10月の第一土曜日に実施しており、2026年度もそのころに実施の予定で準備を進めています (日程の正式発表は4月未ごろ)。

なお、検定は年に一回ですが、検定で腕試しをしたあとは、読売新聞のウェブサイト「読売新聞オンライン」で無料公開している「ウィークリー学習シート」< <https://www.yomiuri.co.jp/kodomo/sheet/> >で新聞を取り入れた学習を続けることができます (読売 KODOMO 新聞のみ)。

2025年4月に実施された「全国学力テスト」でも、中学国語の記述式問題の正答率が25.6%に留まるという結果が出ています。国語に限らず、「読解力」は全ての教科の基礎にもなります。2024年度と同テストでも「新聞をよく読む子供が学力が高い傾向にある」ことが明らかになっています。

子供の学力向上に活かせる身近な教材「新聞」。それを読むきっかけになる検定試験をどうか、ご利用ください。

令和5・6年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校	<input checked="" type="checkbox"/> 中学校	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 特別支援学校
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (団体情報欄参照)			
	令和5年度実績 (都内)	校 (回)	令和6年度実績 (都内)	校 (回)
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科 ()	<input type="checkbox"/> 道徳	<input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間	<input type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等)		<input type="checkbox"/> 教員対象研修	<input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修
	<input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント		<input type="checkbox"/> その他 ()	

支援活動の概要紹介

当部署ではほかに「防犯セミナー」も実施しており、多くの学校に好評をいただいています。

対応可能な時期	その他 例年実績では10月第一土曜日に実施 (正式発表は4月末ごろ)	必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品 などについて	個人受検は新聞検定 HP に公開される会場から選んで受検できます。 団体受検は原則として学校の施設を使い、先生が試験監督を務めて在學生に受検してもらいます。 【参考】2024年度受検者数：「読売 KODOMO 新聞検定」(小学生) 14,034人、「読売新聞検定」(中学生以上) 8,274人 2023年度受検者数：「読売 KODOMO 新聞検定」(小学生) 13,892人、「読売新聞検定」(中学生以上) 8,483人		
連絡先	部署名・担当者	新聞検定事務局 (読売新聞東京本社 販売局 販売企画調査部内)	
	プログラム紹介 WEB	https://www.shimbun-kentei.com/	
	電話	03-3216-8936	
	e-mail	info@shimbun-kentei.com	